

カーボンニュートラル LNG/都市ガス算定・運用システム 妥当性確認報告書

日本瓦斯株式会社
代表取締役社長 津曲 貞利 殿

1. 妥当性確認対象

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社(以下、「SOCOTEC」という。)は、カーボンニュートラル LNG/都市ガス(以下、「CN LNG/都市ガス」という。)が適切に算定され且つ運用されるかについて、日本瓦斯株式会社(以下、「組織」という)が定める「カーボンニュートラル LNG/都市ガス算定・運用マニュアル」(以下、「CN LNG/都市ガス算定・運用マニュアル」という。)に基づき、「カーボンニュートラル LNG/都市ガス算定・運用システム」(以下、「CN LNG/都市ガス算定・運用システム」という。)の妥当性確認を行った。

本件の目的は、CN LNG/都市ガスの算定及び運用システムの妥当性を客観的に評価し、算定される CN LNG/都市ガスの信頼性をより高めることにある。

2. 妥当性確認概要

SOCOTEC は、「カーボンニュートラル LNG/都市ガスの管理プロセスにおけるガイドライン(一般社団法人 日本ガス協会)」、「CN LNG/都市ガス算定・運用マニュアル」及び「カーボンニュートラルリティの実証のための仕様」(PAS2060:2014)を参照し、ISO14064-3 の要求事項を参照した SOCOTEC の手順に基づいて妥当性確認手続きを実施した。妥当性確認対象範囲は販売対象となる都市ガス販売量当たりの LC(Life Cycle)CO₂ 排出量、オフセットで使用されるクレジット量並びに販売される CN LNG/都市ガスの算定・運用システムである。LCCO₂ 排出量とは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの段階で排出された GHG 排出量のことをいう。保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準は想定される総排出量、オフセットで使用されるクレジット量並びに CN LNG/都市ガス販売量の 5%とした。

妥当性確認手続きでは、組織において、「CN LNG/都市ガス算定・運用マニュアル」における CN LNG/都市ガスの LCCO₂ 排出量の算定バウンダリー、算定体制を確認し、「カーボンニュートラル LNG/都市ガスの管理プロセスにおけるガイドライン(一般社団法人 日本ガス協会)」、「CN LNG/都市ガス算定・運用マニュアル」に従って販売対象ガスの LCCO₂ 排出量、CN LNG/都市ガスのためにオフセットで使用されるクレジット量並びに CN LNG/都市ガス量が適切に算定され且つ運用されるかについて確認した。

3. 妥当性確認の結論

「カーボンニュートラル LNG/都市ガスの管理プロセスにおけるガイドライン(一般社団法人 日本ガス協会)」、組織による「CN LNG/都市ガス算定・運用マニュアル」に基づき、販売対象となる都市ガス販売量当たりの LCCO₂ 排出量、CN LNG/都市ガスのためにオフセットで使用されるクレジット量並びに CN LNG/都市ガス量が適切に算定・運用されない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

「CN LNG/都市ガス算定・運用システム」の責任は組織にあり、本妥当性確認に関する責任は SOCOTEC にある。組織と SOCOTEC との間には、特定の利害関係はない。

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社
執行役員社長 二場 誠吾



Seigo Futaba

2024年1月26日